

## 天理市立柳本小学校

## 5年生が「稲刈り体験」をしました

心地よい秋晴れの中、5年生が柳本幼稚園の年長さん・年中さんと一緒に稲刈り体験を行いました。コロナ禍にもかかわらず、このような体験をさせてもらえることは、本当にありがたいことです。6月に田植え体験をしたあと、大事に育ててもらった稲はすくすく育って、金色に輝いていました。カマの扱い方を教えてもらった後、グループごとにどんどん稲を刈り進めていきました。中には一振りですパッと切ってしまう子もいました。「コツを見つけたら簡単や!」「ちょっと斜めに切ったら一発で切れるよ♡」と得意げに技を見せてくれていました。農協の方に、「今すぐ、雇いたいわ〜」と言われるくらい上手な子もいました。また幼稚園の子が落とした稲穂を拾いながら優しく見守り、一緒に稲を運ぶ姿がとても頼もしかったです。



「たくさんの方が、こんなに大変な思いをして育てたお米を私たちは毎日普通に食べていることを知ってほしい。この体験でそのことがわかったら、今日の給食や夕ご飯に出てくるお米に感謝していただきましょう。それでこそ、この体験の意味がある」と杉田のおばあちゃんからお話がありました。





元気いっぱい、自己主張の強い5年生。  
 そのせいか、クラスの中では些細なことで、  
 もめ事が起こることも・・・  
 「校長先生、この子らに『もめるな!』と言う  
 のは『息をすんな』と言ってるのと同じですよ」  
 という言葉には思わず笑ってしまいました。些細  
 なことで言い合っているうちに、折り合いの付け  
 方を覚えていっているのだなあと5年生の日々の  
 成長には驚かされるばかりです。

また5年生は年長さんが入学した時の6年生（最高学年）になるので、交流の機会を  
 多くもっています。とにかく5年生の縦の関係づくりは素晴らしく本当に優しいのです。  
 きっと根が優しい子ばかりなのでしょうね。



帰りには幼稚園の子どもたちが作ったピカチュウのかかしを「ぼくたちが幼稚園まで運  
 びましょうか?」と進んで申し出てくれました。誰に頼まれたわけでもないのに・・・  
 ほんとによく気がつくなあ。その思いやりには今日は心を動かされ、思わず「ひとりごと」  
 を書きたくなりました。

